

# 防推協だより

大楽毛地区防災推進協議会  
発行責任者 土岐 政人  
第 78号  
発行日 令和3年 11月30日

## 大楽毛地区一斉の避難訓練

大楽毛地区防推協会長 土岐政人

10月19日(火)全町一斉の避難訓練を行いました。今年はいにくの雨模様でしたが、小学校を除いた、地域住民の他、中学校、認定幼稚園よしの、木村工務店、サラダパブリカなど 600名を超える方に参加していただきました。

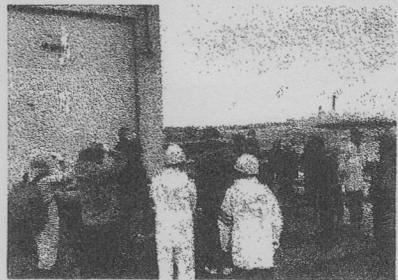
今回は初めて中学校の階段入口のドアのスレートを蹴破ることに挑戦しました。かなりの力が必要だったので、もう少し弱い素材のものでは？の声がありました。

高齢者の避難を取材したいと、NHKから申し入れ依頼があり、南町内会の向後さんに、お願いして取材を受けていただきました。

(年明けの防災企画の番組で放送されるとのことです。)

訓練終了後は王子体育館にて、釧路市に講師をお願いして千島海溝地震、津波の最新情報、今年になって北海道が改めて津波浸水高さの数値を出したことなど、又、大楽毛地域の津波対策の今後についても説明を受けました。

地震、津波はいつ起こるかわかりません。日頃からの心の備えはもちろん、いざという時の持ち出し袋や非常食など、今からもできる備えを、各人がしていくことが大切だと考えます。



鶴野支援学校に避難  
北3丁目町内会

## 阿寒川氾濫危険水位に……避難指示出される！

11月10日、発達した低気圧の影響で大気の状態が不安定となり、道東を中心に9日の夜から10日の未明にかけ、暴風雨となり釧路市は10日9時半ごろ、阿寒川が氾濫水位に達したとして、大楽毛地区1509世帯に避難指示を出しました。市内4ヶ所の避難所で89人が避難されました。

幸いにも朝方から雨がやみ、川の水位もギリギリのところ、増水が止まりホットしたところでした。

あと、30分程度長く雨が降り続いていたと、大変なことになっていました。

大楽毛地区では阿寒川の水位の上昇による危険性は想定されていたことであり、昨年10月に津波の避難訓練と合わせて、初めて阿寒川の、増水による避難訓練を行ったところでした。

今回、まさか？の思いでしたが、本当に起きたことで、10月に行った津波訓練と合わせて、日頃からの訓練の必要性を、あらためて実感することが出来ました。



増水した阿寒川